

この秋、静岡市美術館で「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」が開催されるのにあわせ、**残席僅少**

静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

奇蹟の芸術都市バルセロナ展 ミュージアム・コンサート

2019年11月17日(土)14:00開演(13:30開場)

会場：静岡市美術館多目的室
全自由¥1,000(税込) 定員70人

* 静岡音楽館俱楽部会員割引はありません。
* チケットは静岡音楽館AOI、静岡市美術館で販売します。
* 未就学児はご入場いただけません。

出演

生駒宗煌(チェロ)、木村理沙(ピアノ)

曲目

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007より 前奏曲
カタルニヤ民謡〈鳥の歌〉(P.カザルス編)

E.グラナドス：マドリガル イ短調

アンダルーサ(いのり) スペイン舞曲 op.37-5

I.アルベニス：マヨルカ(舟歌) op.202

G.カサド：親愛なる言葉

L.v.ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番 イ長調 op.69 ほか

[静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業について]

JR静岡駅のすぐそばに位置する、静岡音楽館AOI、静岡科学館る・くる、静岡市美術館。静岡市の文化をより豊かなものにするために、それぞれの特長を活かしながら分野を超えた共同事業を開催しています。音楽×科学×美術のコラボレーションによって生まれる、新しいイベントに参加してみませんか。

展覧会情報

静岡市美術館 奇蹟の芸術都市バルセロナ展

2019年11月15日(金)～2020年1月19日(日)

休館日／毎週月曜日(ただし1/13は開館、1/14は休館)、12/30～1/1

■開館時間 10:00～19:00(展示室入場は閉館の30分前まで)

■観覧料 一般1,200(1,000)円、大高生・70歳以上800(600)円、中学生以下無料

* () 内は前売および当日に限り20名以上の団体料金

* 障害者手帳をご持の方や介助者原則1名は無料

[主催] 静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

Daiichi-TV



静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業 講座「パイプオルガンってどんな楽器?」

7月27日(土)に静岡科学館る・くる、28日(日)に静岡市西部生涯学習センターで、静岡音楽館AOI学芸員と静岡科学館る・くるエデュケータによる講座「パイプオルガンってどんな楽器?」を実施しました。オルガンのしくみが判る模型やパイプのサンプルを使ったり、みんなで紙ホイップルやストロー笛を作って発音の原理を学びました。参加者からは「楽しかった。コンサートを聴いてみたい」などの感想がありました。

AOIでは、12月14日(土)にオルガン¥500コンサートを開催します。ぜひご来場ください。



オルガン ¥500コンサート

クリスマス★コンサート
梅千野安未(オルガン)

2019年
12月14日(土)
14:00開演(13:30開場)～15:00終演予定

J.S.バッハ：前奏曲とフーガ ハ長調 BWV547
J.F.ダンドリー：ノエル(歌の主イエス・キリストはいつ)
C-B.バルバストル：クリスマスの変奏曲(エニイ)
《信大なる神、あなたの慈しみ》
L.ハーライン：星に願いを(ディズニー映画ピクサス)より
L.イエッセル：おもちゃの兵隊のマーチ
E.エルガー：愛の挨拶
J.アラン：リタニー
J.S.バッハ：目覚めよ、と呼ぶ声あり BWV 645(Ch-M.ヴィードル編)
Ch-M.ヴィードル：オルガン交響曲 第5番 op.42-1より
第5楽章(トッカータ)



AOI通信

静岡音楽館俱楽部情報誌
SEP. 2019 No.95

秋号

インタビュー アレクサンドル・タロー

クリスマス★コンサート
大西順子トリオ
クリスマス・ジャズ・ライヴ



ベートーヴェン・プロジェクトについて
静岡・室内楽フェスティバル2019



ベートーヴェンの交響曲を全て聴くという機会もなかったのでこのシリーズはいいですね。
次回もとても楽しみです。

(7/21 オーケストラを聴こう ベートーヴェン全集I ご来場者より)

ご来場まことにありがとうございました。多くの方から同様のご感想をいただきました。
2020年はベートーヴェン生誕250年にあたります。それに先駆け、今シーズンよりベートーヴェンの作品を特集していく「ベートーヴェン・プロジェクト」を開始しました。「オーケストラを聴こう」シリーズでは3年をかけて、ベートーヴェンの交響曲を全曲演奏していく予定です。次回は2020年2月2日で、交響曲第2番、第6番『田園』を取り上げます。どうぞお楽しみに。

かわった楽器(珍しい楽器)を使ったコンサートをもっと企画してください。

ご意見ありがとうございます。AOIでは様々なジャンルの音楽にふれてほしいという思いから、いわゆるクラシック音楽以外にもワールドミュージックや邦楽などのコンサートも実施しています。今年度は10月に、コラ、ヴァリハ、ウードというアフリカの弦楽器による三重奏のコンサート「3MA(スリー・エム・エー)」を実施します。ご来場をお待ちしています。

静岡音楽館俱楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2019年度をもって退会をご希望のかたは、2020年2月末までに、静岡音楽館俱楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますのでご了承ください。

静岡音楽館俱楽部 法人会員(2019年8月現在)150音頭

●(株)アイテック ●(株)タミヤ
●(株)SBSプロモーション ●(株)戸田書店
●(株)ジェイフル東海ホテルズ ●(有)丸吉事務機
ホテルアソシア静岡

コンサートシリーズ2019-20
主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静清信用金庫

協 賛 アイワ不動産HD studio
FORUM
ホルセントリー 静岡 ANSHINDO

助 成 文化庁芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

要事前予約(1週間前まで)・託児料：1人1,000円
すわん Tel./Fax.054-255-5377
(火～金 10:00～15:00)
e-mail : swan@xj1.biglobe.ne.jp

留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左 静岡中央郵便局 合同建物内

至 浜松 (有料) P AOI 駐輪場 (有料) P 松坂屋 国道1号線 至 東京
JR静岡駅 駐車場(有料) P パルシェ JR静岡駅 ホテルアソシア静岡
東海道本線・新幹線 静岡科学館る・くる・ ホテル センチュリー静岡
当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

CONCERT HALL SHIZUOKA 静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)9:00～21:30開館

〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お 問 合 セ

054-251-2200

AOI 検索

11月にAOIに出演する
アレクサンドル・タロー氏にお話をうかがいました。
2012年6月に引き続き、2回目の登場です。

インタビュー アレクサンドル・タロー

聴き手：野平多美（作曲家・音楽評論家）



——インスタグラムにたくさん投稿していらっしゃるアレクサンドル・タローさん。先ほど、見事な打ち上げ花火の動画を見ました。

ああ、すごいしょ！モントリオールでは、1ヶ月間“花火祭り”があり、週に2回、異なる国の花火が上がるのです。昨日はポルトガルでした。私は、花火が大好きですが、なんといっても、花火を鑑賞する人の表情も素晴らしいですね。花火を見るときだけじょ、子供の頃に戻ったようにみんなで一心に同じ方向を見つめるのって。それを見ているだけで嬉しくなります。

——タローさんらしい花火の楽しみ方ですね。それで今は、休暇でモントリオールにいらっしゃるのですか？

いえ、この4ヶ月はヨーロッパを離れているのです。アメリカ大陸に留まって、モントリオールを拠点に、春にはアメリカ演奏旅行をして、先週まで3週間は南アメリカに演奏旅行に行っていました。こうすることで、ある程度休養が取れて、ヨーロッパとの往復を避けられます。週末に演奏会で弾いて、2週間モントリオールでゆっくりとした時間を過ごす、という生活のリズムはとても心地よいです。モントリオールにアパートも購入したところです。これで、少なくとも1年に3ヶ月はモントリオールに滞在するようにする予定です。

——南アメリカの演奏旅行はいかがでしたか？

コロンビア、ブラジルとアルゼンチンを周ってきました。

——そういえば、インスタグラムのヴィデオで、音楽に合わせて踊っている人たちを見ました。

ええ、これらの国々は、本当に並外れてすばらしい雰囲気です。このところ、演奏する国々も制御しようと考えていて、もう南アメリカを再訪することないだろうと思っていたましたが、この演奏旅行の帰り道に、やっぱりまた行きたい、という衝動に駆られたくらいです。とりわけ、素晴らしいホールに恵まれました。

——どこが一番印象に残っていますか？

ブラジルのサンパウロの鉄道の古い駅舎を改装したホール（サラ・サンパウロ）は、今までの経験で一番素晴らしいですよ。そして聴衆が2日とも席を埋め尽くしていたのには感激しました。ブエノスアイレスでも、ホールが超満員で、興奮した聴衆を目の当たりにすることは、本当に幸福でした。ブエノスアイレスにはそんなに行った事もありませんし、前回は12年前だったかな。それなのに、なんとその時に聴いたからまた来た、という人たちもいました。まるで、恋人たちのランデバーのようじょ？ まったく、音楽家冥利につきるとはこのことです。演奏家は、こうやって熱心に聴いてくれる人がいることが演奏活動の活力になるのです。

——演奏曲目は？

前半は、ラモー、ドビュッシー、ベートーヴェンのピアノ・ソナタop.110、ラヴェルの《ソナチネ》、レイノルド・アーンの《ヴェルサイユ組曲》。そして、私自身が編曲したラヴェルの《ラ・ヴァルス》です。《ラ・ヴァルス》は、ピアノ2台用にラヴェル自身が編曲していますが、再編曲されたピアノ・ソロ用はバレエ公演の練習用に過ぎないです。ラヴェルは、その版を演奏することは好みませんでした。それを私は、新たにオーケストラ風に編曲し直したのです。この曲を最後に置くと、それこそ花火のように華やかに公演を終わることができます。

——2012年に来静されてから、7年経ちましたね？

去年の12月に50歳を迎える。実は最近ヨーロッパのエージェントも変えて、心機一転新しい演奏生活を過ごそうと思っています。何もかもを楽しんでやるべきだと考えたのです。何かに囚われたりしてはつまらない。ですから、自分自身今後の活動が拓けていくのも楽しみです。もっと自分にできることがないかを模索していく事も必要です。一つの枠に収まりたくないのです。7年の間には、バッハ《ゴルトベルク変奏曲》、ラフマニノフの《ピアノ協奏曲》第2番などのCD録音をしました。引越しをしたり、日本にも何度も来ていましたよ。それと、去年父を亡くしましたし、人生でも色々なことが起こりました。そうそう、2冊の本を出版しました。1冊は、インタビュー形式でしたが、もう1冊はピアニストの一日至通して、私自身の半生、ピアニストは、演奏会がある日をどう生きているか、内面的にですよ、それを事細かに書いてみたのです。タイトルは『あなたの手を見せて Montrez-moi vos mains』です。

“演奏会”を中心には進みます。演奏会場に着いて、どういうホールか探ることとか、どういうピアノなのか、調律はどうか、また宿泊するホテルのことや演奏会場までの移動はどうだったかとか、もちろん演奏会はどんな風に行われたか、聴衆との関係はうまくいったか、などを記していました。韓国語版がすでに出版され、来年はイタリア語版とトルコ語版が出る予定です。日本語版も出ると嬉しいなあ。まだ英語版の予定がないのも残念なのですが。ほかには、“バルバラ”という有名なフランス人シャンソン歌手に没後20年を記念してオマージュを捧げたコンサートも企画して実施しました。クラシック音楽家が、どのようにシャンソン歌手に影響を受けたか、ということを表現したかったのです。しかしそれにはたくさんのシャンソン歌手や色々な音楽家が関わらなければならず、大仕事でした。パリでは、18人の音楽家を招いて大きい演奏会になりました。

今は、11月に発売するCDを準備しています。タイトルを「ヴェルサイユ」にしました。フランスのバロック作曲家にまた焦点を当てたのです。今まで、ラモー、クープランのピアノ曲集のアルバムをリリースしましたが、今度は今まで弾いてこなかった作曲家や知られざる作品のバロックの花束というプログラムを考えました。

——では、この10月に来静して演奏してくださる曲目についてお話ししていただきましょう。

静岡では、そのCD「ヴェルサイユ」に先行して、ロワイエやラモーの佳曲をお聞きいただく予定です。

——静岡公演冒頭のドビュッシー《牧神の午後への前奏曲》はタローさんご自身の編曲ですね。

実はオーケストラ作品のピアノ用の編曲はいろいろしています。覚えてますか？ 私が子供の頃から作曲家になるのが夢だったのを。一緒にパリ音楽院のジャニンヌ・リュエフ教授の和声のクラスにいた頃も、それを目指していましたから…！ それで、今は結局作曲家にはならなかったのだけれど、たまには短い曲を書いたりもしています。そして、編曲は作曲家の仕事ですよね。五線紙に編曲しながら筆を進めることも、とてもわくわくするのです。鉛筆を使って紙の五線紙に書き込む喜びといつたら！

25年前から、自分編曲の「前奏曲」は舞台でも弾いていました。するとある日、ポーランド系フランス人のピアニストの親友フレデリック・ヴァイセンニッター Frédéric Vaysse-Knitterが、CD録音に私の編曲を弾きたいと言ったのです。それで、改めて楽譜を眺めてみて、編曲し直そうと思ったのです。そうしたらそれがとても巧くいき、自信作となりました。楽譜もフランスのアンリ・ルモワヌ社から出版しました。

——楽しみですね。他の編曲作品はどんなものがありますか？

デュカス《魔法使いの弟子》、ヴィラ＝ロボス《ブラジル風バッハ》第2番、ビゼー《アルルの女》などですね。

——そして、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第32番作品111で演奏会を締めくくってくださるのですね。

ええ、ご存知のようにソナタ集の最後の3曲は、ベートーヴェンがまとめて構想したので、以前から弾きたかった曲目なのです。ついにこの3つのソナタ（作品109、110、111）を昨年CD録音しました。静岡で作品111を弾くのは、そのお披露目の意味もあります。

——広い視野を持ち、いろいろなことにアプローチするアレクサンドル・タローの興味は、まだまだ止まらない。

ある国の10回連続のラジオ番組で、ショパン役を引き受けました。ヨルジュ・サンドとの会話で構成されている興味深い台本です。以前も、「ストラヴィンスキー」のタイトルで舞踊家のニシンスキ役を務めたことがあります。

——今度は、声優ですか！ それでは、静岡でお待ちしています！

静岡を再訪するのを、とても楽しみにしています。

11月にお会いしましょう！

追記：

——インスタグラムにピアノのシリーズを投稿していますね。

ああ、それはピアノの鍵盤の上に何か置くという試みです。あれは、確か2年ほど前に1枚投稿してみたら、それについてどなたかがとっても面白がってコメントをくださったのです。それで調子に乗ってレッスン1と名付けてずっと続けていたら、今やレッスン300になりました。これは、これにはとっても想像力が必要だし、常に面白いことを追求しなければならないので、なんだか追い込まれているような感じなんですよ（笑）。でも、これも私自身楽しんでやっています。

——でも、時折ピアノの上にエビとか貝殻とかが置いてあって、ピアノに傷がつくのではないかとヒヤヒヤしますけれど。

※ 以前にもお話ししましたが、私はピアノを自宅に置いていません。ですからご配慮なく、あれは、ピアノの調律の方のところの、廃棄が決まっている鍵盤なのです。ああ、これからもまたピアノと何が創造的なマッチングか考えなくては！

※ AOI通信 No.65(2012年春号)インタビュー

2019年7月12日

アレクサンドル・タロー
ピアノ・リサイタル
2019 11/30 土



22歳以下
¥1,000

18:00開演(17:30開場)

全指定 ¥4,000(静岡音楽館会員 ¥3,600)

[Pコード=125-851]

※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

曲目

C.ドビュッシー：《映像》第1集 より〈ラモーを講えて〉

J.-N.-P.ロワイエ：クラヴサン曲集第1巻 より〈愛想をふりまく人〉〈スキタイ人の行進〉

J.Ph.ラモー：新クラヴサン曲集 より〈アルマンド〉〈サラバンド〉〈小さなファンファリネット〉〈ガヴォット〉と6つのドゥーブル〉

C.ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲（A.タロー編）

L.v.ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第32番 ハ短調 op.111



大西順子

メツセーニジ

(ピアノ)

大西順子トリオ
大西順子(ピアノ)
井上陽介(ベース)
高橋信之介(ドラムス)

12月に出演される大西順子さんよりメッセージが届きました。
前回ご出演くださったのは1998年12月。実に21年ぶりに再登場です。

21年ぶりに静岡音楽館AOIで私のトリオでコンサートを出来ることを大変喜ばしく思っています。21年前はまだJAZZというとなかなかホールでの演奏は数少なかったように思います、今では数多くのホールで積極的にJAZZのコンサートが催されるようになりました。音楽がジャンルではなく、その音楽の持つ力を聴衆の皆様に感じていただける機会が増えたことは本当に喜ばしいと思っています。今回の私のトリオに参加してくれているメンバーはこの数年アルバム制作、全国ツアーと常に私を支えてくれた最高のメンバーです。そんなメンバーとこの静岡音楽館AOIに帰って来ることができました。お客様にとって、もしかしたら初めて耳にするような音楽であるかもしれません、何かを感じて頂けたらそれは私たちにとって大きな喜びです。お会い出来るのを楽しみにしています。



クリスマス★コンサート

大西順子トリオ クリスマス・ジャズ・ライブ

2019

12/19木

22歳以下
¥1,000

19:00 開演(18:30 開場)

全指定 ¥5,000 (静岡音楽館俱楽部会員¥4,500)
[Pコード: 125-852]

*未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)



静岡音楽館AOIの ベートーヴェン・プロジェクトについて

来たる2020年は「東京オリンピック」の年でもあります、音楽の分野ではベートーヴェンの生誕250年というメモリアル・イヤーとなります。おそらく世界中の演奏家や演奏団体、コンサート・ホールが、いつも増してこの機会にベートーヴェンを特集する音楽会を開くことでしょう。ここ静岡音楽館AOIでも2020年に向けて、今年度2019年からベートーヴェンの主要作品を集中的に取り上げることにしています。名付けて「ベートーヴェン・プロジェクト」。ベートーヴェンと言えば、これは紛れもなく西洋芸術音楽の歴史における最も偉大な天才の1人であり、この分野の歴史を象徴する「顔」でもあります。彼の創作を振り返ることは、コンサート・ホールにとって重要な1つの節目となることでしょう。ここ静岡音楽館ではジャズや日本の伝統芸術、さらに世界中の音楽(ワールド・ミュージック)へと門戸を開きながら、商業的な音楽は避けつつ、なるべくコンサートに多様性を持たせようとしていますが、何と言ってもその中心となるレパートリーが西洋芸術音楽であり、そしてその中核にベートーヴェンが位置しているわけです。

ベートーヴェンの創作はハイドン、モーツアルトのそれに続くウィーン古典派の3番目の核として、19世紀ロマン派へと推移していく西洋音楽史の流れの中に、不滅の金字塔を打ち立てました。大バッハやそれ以前の作曲家の偉業、そしてバッハの息子たちの音楽を吸収して育ったベートーヴェンは、その世代の音楽家たちはもとより、後世の作曲家たちに多大な影響を与えました。の中には彼の目覚ましい技術的な発展に打ちのめされた作曲家も大勢います。またその無類に多彩な感情表現の素晴らしさへのめり込む作曲家も多くいました。おそらく19世紀・20世紀前半の作曲家でベートーヴェンに影響を受けなかった人は1人もいないでしょう。そしてその影響力は現在でもとどまるところを知りません。現代の音楽はベートーヴェンの目指したところからとても遠いところに来てしましましたし、現在活動しているクリエーター達がすべてベートーヴェンの存在を意識したり肯定しているわけではありません。しかし彼を意識するにせよしないにせよ、肯定するにせよ否定するにせよ、ベートーヴェンは大きく、我々の前に立ちはだかる存在であることは言うまでもありません。もちろん演奏家にとって、ベートーヴェンの演奏を極めることは、各々のライフワークともなり得る大変重要な仕事・行為であることは言うまでもありません。

ベートーヴェンを機会あるごとに見直して行く場を作ることは、こうして音楽表現の上からだけ考えても重要なのですが、実は昨今の世界情勢を考えて行くと、ベートーヴェンの創作思想が果たす役割もさらに大きいものがあるように思います。現在世界から次第に秩序や哲学が失われ、紛争の勃発だけではなく環境の悪化など、政治・経済・社会・教育の乱れ、問題点が増大しているように思います。こうした時代こそ、ベートーヴェンの芸術の真価が問われる時代もあると認識しています。ベートーヴェンの音楽を演奏し、聴き、研究することで、ベートーヴェンの圧倒的とも言える生命力に触れ、人間の生きる希望を再確認するとともに、人々の相互理解・連帯を深めること、こうしたこと、この困難な時代へ対処する課題としてまた音楽家達にも課されているのではないかでしょうか。

静岡音楽館AOIの「ベートーヴェン・プロジェクト」では(来年度の詳細については2020-21のパンフレット発行をお待ちください)、いくつかの核となるシリーズがあります。まず1つは交響曲全9曲を約3年にわたって全曲を演奏しようとするものです。すでに今年の7月21日にその第1回(交響曲第1番・第3番《英雄》)のコンサートが行われました。当館の企画委員沼尻竜典氏が、毎回異なる日本のオーケストラを指揮しながらお贈りします。ベートーヴェンの交響曲を聴きながら、同時に日本各地のオーケストラの響きの違いも楽しめるというシリーズです。2つ目は、AOI・レジデンス・クワル텟

を中心とした後期の弦楽四重奏曲のシリーズです。かのドラクロワが「狂人なのか、天才なのか」と問い合わせたほどこの後期の作品群を、特に静岡でまとめて聴ける機会はなかなかありません。一部外国のカルテットも演奏に参加する予定ですが、ホールが誇るレジデンス・クワル텟は数年前よりベートーヴェンの初期中期の作品を取り上げながら、ベートーヴェンの演奏経験を積み上げてきました。さぞかし素晴らしい演奏になるのでは。これを聴いたらドラクロワも「やはり天才だった」と断言するに違いありません。さらに、ベートーヴェンの人生感そのものを生の形で表す自らが書いた遺書や書簡、特に「ハイリゲンシュタットの遺書」や「不滅の恋人への手紙」を併優に読んでいただきながら進めて行くコンサートも企画しています。遺書において耳の変調を訴えたり、恋文で赤裸々に表す恋の苦しみなど、我々の日常生活の中での苦闘とまるで変わりないベートーヴェンがここにいます。名曲を聴いていただきながら、ベートーヴェンがどんな人間であったのかを探って行く試みとなるでしょう。また「ピアニストのためのアンサンブル講座」では2019年度にピアノ・トリオ全曲を、20年度にはヴァイオリン・ソナタ、チェロ・ソナタを取り上げる予定しています。専門的な講座ですが、レッスン・楽曲分析の講座・修了コンサートなどすべてが原則公開されています。

こうしたさまざまなコンサートや企画を通じて、ぜひあなた自身の人とは違うベートーヴェンの真の姿を見出しませんか。それは100人いれば100の異なる姿をしているでしょう。静岡音楽館AOIの「ベートーヴェン・プロジェクト」で是非それを見つけてください。そして改めてベートーヴェンの作る芸術に触れ、ベートーヴェンの創作を考える機会にしようではありませんか。

野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)



オーケストラを聴こう ベートーヴェン：交響曲全集Ⅱ

2/2 [日] 15:00 開演(14:30 開場)

全指定¥6,000 [Pコード=125-859] (会員¥5,400、22歳以下¥1,000)

出演

沼尻竜典(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団

曲目

L.v.ベートーヴェン：劇音楽《エグモント》op.84序曲

交響曲第2番 ハ長調 op.36

第6番《田園》ヘ長調 op.68



オーケストラを聴こう

ベートーヴェン：交響曲全集Ⅰ

7/21 [日] 15:00 開演(14:30 開場)

全指定¥6,000 [Pコード=125-690] (会員¥5,400、22歳以下¥1,000)

曲目／L.v.ベートーヴェン：交響曲第1番 ハ長調 op.21

第3番《英雄》変ホ長調 op.55

出演／沼尻竜典(指揮)、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

コンサートの冒頭、指揮者の沼尻竜典氏がお話しされたのち、第1番、第3番を演奏しました。次回は2020年2月2日です。ぜひお待ちしています。

静岡室内楽 フェスティバル 2019

Shizueka Chamber Music Festival 2019

9/21土▶11/30日

[主管] 静岡音楽館 AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団
静岡市文化振興財団

川本嘉子(ヴィオラ)&
小山実稚恵(ピアノ)
デュオ・リサイタル

A
CONCERT SERIES
2019-20

9/26[木] 19:00 開演(18:30 開場)

全指定¥4,000 [Pコード=125-814]
(静岡音楽館会員¥3,600、22歳以下¥1,000)

会場/静岡音楽館AOIホール(8階)*未就学児はご入場いただけません。

出演/川本嘉子(ヴィオラ)、小山実稚恵(ピアノ)
曲目/J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲第2番 短調 BWV1008

L.v.ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第31番 楽・長調 op.110
J.ブラームス: 11のコラール前奏曲 op.122 より(野平多美編)
ヴィオラ・ソナタ第1番 短調 op.120-1



第9回
A
CONCERT SERIES
2019-20

アマチュア・アンサンブルの日

11/23[土・祝]

12:00 開演(11:30 開場)

*18:40 終演予定

会場/静岡音楽館AOIホール(8階)

全自由・無料(申込不要)

出演
第1部 12:00開演
第2部 13:45開演予定
第3部 15:30開演予定
第4部 16:45開演予定

とじほん&とじほんご(リコーダー、チェンバロ)、かけくら☆トリオ(クラリネット三重奏)、

アンサンブル・ヴァン・ルージュ(弦楽三重奏)、DeCies(チェロ四重奏)、ラリロー(管合奏)、ムジカ・ブリューム(弦合奏)

アニロ・グランデ(ギター二重奏)、アンジェリカ(エンジェルハープ・アンサンブル)、Re Born(リコーダー・アンサンブル)、

MYROS(リコーダー・アンサンブル)、フレンズ(マンドリン・ギター・アンサンブル)、サウンド・オブ・ドリーム(ギター・アンサンブル)

Bass Clove♪(バス・クラリネット三重奏)、はんなりプラス(金管三重奏)、アンサンブル「とろ」(トロンボーン四重奏)、

静岡県トロンボーン協会(トロンボーン五重奏)、Saxophone Ensemble PICO(サクソフォン・アンサンブル)

富士宮COTUPON Orchestra(サクソフォン、ピアノ)、kimie & maco(フルート、ピアノ)、

ESPRESSIBONE(トロンボーン、ピアノ)、Trio Pont de Cerisier(サクソフォン、フルート、ピアノ)、

カリスマ室内アンサンブル(ピアノ四重奏)、リコーダークラブ「つくづくほうし」(リコーダー・アンサンブル)、

志太室内楽団(木管アンサンブル)

*ただし定員によりご入場をお断りする場合があります。*未就学児もご入場いただけます。*託児サービスはありません。

静岡市健康文化交流館 来・て・こ×静岡音楽館AOI 共催事業
「静岡の名手たち」による
ファミリー・コンサート G



10/5[土] 13:30 開演(13:00 開場)

会場/静岡市健康文化交流館 来・て・こ ホール(3階) 定員80人

無料(要申込)*未就学児もご入場いただけます。

9/7(日) 10:00 電話申込(申込料)

出演/古川はるな(フルート、リコーダー、箏曲)、深澤太一(ギター)

曲目/N.イエス: 禁じられた遊び BEGIN: 涙そうそう J.S.バッハ: ガヴォット(BWV1006a)、シチリアーノ(BWV1031)

H.アレン: オーバー・サ・レンボー(ミュージカル映画「オズの魔法使い」より)(清瀬徹編)

滝廉太郎: 荒城の月 J.デニババ: カントリーロード

G.Ph.テレマン: ファンタジー第1番(無伴奏フルートのため)イ長調 TWV40:2

第1番(無伴奏ヴァイオリンのため)変長調 TWV40:14

A.ピアソラ: 『タンゴの歴史』より(カフェ1930)〈ナイトクラブ1960〉ほか

静岡・音楽館×美術館 共同事業

「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」
ミュージアム・コンサート



11/17[日] 14:00 開演(13:30 開場)

会場/静岡市美術館・多目的室 定員70人

¥1,000(静岡音楽館会員割引はありません)

出演/生駒宗煌(チロ)、木村理沙(ピアノ)

曲目/J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲第1番 楽・長調 BWV1007 より 前奏曲

カタルーニャ民謡(鳥の歌) (P.カガルス編)

E.グラナドス: マドリガル

G.カサド: 親愛なる言葉

L.v.ベートーヴェン: チェロ・ソナタ第3番 イ長調 op.69 ほか

AOI・レジデンス・クワルテット A
CONCERT SERIES
2019-20

11/9[土] 18:00 開演(17:30 開場)

全指定¥3,500 [Pコード=125-848] (静岡音楽館会員¥3,150、22歳以下¥1,000)

会場/静岡音楽館AOIホール(8階)*未就学児はご入場いただけません。

出演/AOI・レジデンス・クワルテット[松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)]



BEETHOVEN PROJECT
曲目/L.v.ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第5番 イ長調 op.18-5
A.シュニケ: 弦楽四重奏曲第3番
J.ブラームス: 弦楽四重奏曲第2番 イ短調 op.51-2

関連事業

講演会
「ベートーヴェンの世界」

11/9(土) 16:00~17:30

講師: 平野昭(音楽評論家)

会場/静岡音楽館AOI講堂(7階) 無料(要申込)

講演会「この1曲」をとことん語る
L.v.ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第5番 イ長調 op.18-5
10/4(金) 講師: 闇本淑乃(静岡音楽館AOI芸術委員)
J.ブラームス: 弦楽四重奏曲第2番 イ短調 op.51-2
10/11(金) 講師: 竹内啓(静岡音楽館AOI芸術委員)
A.シュニケ: 弦楽四重奏曲第3番
10/18(金) 講師: 小林旬(静岡音楽館AOI芸術委員)

いずれも19:00~20:30 会場/静岡音楽館AOI講堂(7階) 無料(要申込)

トリン・アーツ・ネットワーク 提供 ©大塚道治



第9回
A
CONCERT SERIES
2019-20

アマチュア・アンサンブルの日

11/23[土・祝]

12:00 開演(11:30 開場)

*18:40 終演予定

会場/静岡音楽館AOIホール(8階)

全自由・無料(申込不要)

出演
第1部 12:00開演
第2部 13:45開演予定
第3部 15:30開演予定
第4部 16:45開演予定

とじほん&とじほんご(リコーダー、チェンバロ)、かけくら☆トリオ(クラリネット三重奏)、
アンサンブル・ヴァン・ルージュ(弦楽三重奏)、DeCies(チェロ四重奏)、ラリロー(管合奏)、ムジカ・ブリューム(弦合奏)
アニロ・グランデ(ギター二重奏)、アンジェリカ(エンジェルハープ・アンサンブル)、Re Born(リコーダー・アンサンブル)、
MYROS(リコーダー・アンサンブル)、フレンズ(マンドリン・ギター・アンサンブル)、サウンド・オブ・ドリーム(ギター・アンサンブル)
Bass Clove♪(バス・クラリネット三重奏)、はんなりプラス(金管三重奏)、アンサンブル「とろ」(トロンボーン四重奏)、
静岡県トロンボーン協会(トロンボーン五重奏)、Saxophone Ensemble PICO(サクソフォン・アンサンブル)
富士宮COTUPON Orchestra(サクソフォン、ピアノ)、kimie & maco(フルート、ピアノ)、
ESPRESSIBONE(トロンボーン、ピアノ)、Trio Pont de Cerisier(サクソフォン、フルート、ピアノ)、
カリスマ室内アンサンブル(ピアノ四重奏)、リコーダークラブ「つくづくほうし」(リコーダー・アンサンブル)、
志太室内楽団(木管アンサンブル)

*ただし定員によりご入場をお断りする場合があります。*未就学児もご入場いただけます。*託児サービスはありません。

静岡市健康文化交流センター×静岡音楽館AOI 共催事業
「静岡の名手たち」による

F
静岡の名手たちによる
ファミリー・コンサート F

11/24[日] 14:00 開演(13:30 開場)

会場/アイセル21 静岡市生涯学習センター

全自由¥500 *未就学児もご入場いただけます(チケットが必要です)

10/7(日) 10:00より発売

出演/Mina & Rie 曲目/M.ラヴェル: 「マ・メール・ロワ」より(おはなし付)
P.J.チャイコフスキ: パラエ音楽「くるみ割り人形」より(花のワルツ)
菊川里恵(ピアノ・デュオ) ディズニー・メドレー ほか

[主催] 静岡市生涯学習センター×静岡音楽館AOI

静岡市北部勤労者福祉センター

静岡市小農老人福祉センターインター

指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

出演/古川はるな(フルート、リコーダー、箏曲)、深澤太一(ギター)

曲目/N.イエス: 禁じられた遊び BEGIN: 涙そうそう J.S.バッハ: ガヴォット(BWV1006a)、シチリアーノ(BWV1031)

H.アレン: オーバー・サ・レンボー(ミュージカル映画「オズの魔法使い」より)(清瀬徹編)

滝廉太郎: 荒城の月 J.デニババ: カントリーロード

G.Ph.テレマン: ファンタジー第1番(無伴奏フルートのため)イ長調 TWV40:2

第1番(無伴奏ヴァイオリンのため)変長調 TWV40:14

A.ピアソラ: 『タンゴの歴史』より(カフェ1930)〈ナイトクラブ1960〉ほか

静岡・音楽館×美術館 共同事業

「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」
ミュージアム・コンサート



11/17[日] 14:00 開演(13:30 開場)

会場/静岡市美術館・多目的室 定員70人

¥1,000(静岡音楽館会員割引はありません)

出演/生駒宗煌(チロ)、木村理沙(ピアノ)

曲目/J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲第1番 楽・長調 BWV1007 より 前奏曲

カタルーニャ民謡(鳥の歌) (P.カガルス編)

E.グラナドス: マドリガル

G.カサド: 親愛なる言葉

L.v.ベートーヴェン: チェロ・ソナタ第3番 イ長調 op.69 ほか

子どものためのコンサート
0歳児からの
ファミリー・コンサート Vol.4 A
完売

10/26[土] 10:30 開演(10:00 開場)*11:30 終演予定

会場/静岡音楽館AOI講堂(7階) 全自由¥500
(静岡音楽館会員割引はありません) 定員300名

曲目/J.S.バッハ: 映画「となりのトトロ」より(となりのトトロ) (さんば) 出演/竹田詩織(ヴァイオリン)
映画「パルの勤く城」より(人生のメリーゴーランド) 堀内幸子(ヴァイオリン)
黒須克彦: 夢をかなえてドラえもん ほか 武生直子(ヴィオラ)
伊藤文嗣(チェロ)

*未就学児もご入場いただけます(チケットが必要です)。
*18歳以上の方のみのご入場はできません。*託児サービスはありません。*休憩はありません。

静岡・音楽館×美術館 共同事業

「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」
ミュージ